

発刊のご挨拶

日本貸金業協会

会長 今井 三夫



このたび、令和元年度の協会活動についてご報告するとともに、関係資料及び公知情報などをお届けいたします。

貸金業界を見ますに、貸金業者数は引き続き緩やかに減少傾向となっている一方で、貸付残高についてはこのところ増加基調にあります。こうした中、フィンテック等を活用した金融サービスの進展や、人口減少・高齢化などの社会環境の変化は、貸金業界における構造変化やビジネスモデルの再構築を一層加速させていくものと考えております。

また、足元では新型コロナウイルス感染症の長期化が懸念されており、日本経済の先行きは不透明感を増しつつあります。

会員各位におかれましては、円滑な資金供給を通じて資金需要者の真摯な経済活動への展開を後押ししていただくとともに、本協会が策定した感染予防対策ガイドラインに沿った業務運営をお願いいたします。

大きな変化の中にある貸金業界ではありますが、本協会は、今後とも中立公正な立場で、新たな課題に的確に対応し、業界が社会の皆さまから弛みなく信頼を得て持続的に発展することができるよう取り組みを進めて参ります。

今回発刊する報告書をご高覧いただき、資金需要者の利益の保護と、業界の健全な発展に向けた本協会の昨年度の取り組みについてご理解いただければ幸いです。

今後とも本協会に対するご支援とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。